

財 政 事 情

『滋賀県基本構想 ~未来を拓く共生社会へ~』の実現に向けて



平成 20 年（ 2008 年）5 月

滋 賀 県

滋賀県の姿

(内の順位は、全都道府県中数値の大きい方からの順位です。)

総面積 4,017.36 k m² **38位**

(うち琵琶湖の面積 670.25 k m²)

*H19.10.1 国土地理院

(滋賀県の総面積は総務省統計局)

市町数 13市13町 (H18.3.20~)

人口 1,380,361 人 (H17.10.1 現在)

31位

増加率 2.8 % (対H12.10.1 現在)

5位

世帯数 479,217 世帯 (H17.10.1 現在)

32位

増加率 8.8 % (対H12.10.1 現在)

2位

一般世帯平均人員 2.85 人 (H17.10.1 現在)

(3.02 人(H12.10.1 現在))

*人口、世帯数は総務省統計局「国勢調査」

県民所得 327.5 万円 (県民1人当たり)

4位

*滋賀県統計課「平成17年度滋賀県民経済計算」

実質経済成長率 2.5 % (実質県内総生産(支出))

28位

*滋賀県統計課「平成17年度滋賀県民経済計算」

県内総生産における第2次産業の占める割合 47.1 %

1位

*滋賀県統計課「平成17年度滋賀県民経済計算」

表紙の絵

野村文挙「栗津晴嵐」(近江八景図 8幅のうち) 1幅

絹本着色 62.5×84.5 (cm) 明治32年(1899)

滋賀県立近代美術館所蔵

神崎郡出身の近江商人の子として京都で生まれた野村文挙は、近江にも縁の深い塩川文麟に入門して、写生を基礎にして上品な作風で知られる四条派を学んだ。文挙は、風景画を描き、写生によるリアル真景図として評価されるが、この近江八景を8幅で描いた作品も伝統的で穏健な作風になっている。文挙は、東京に出て学習院で絵画を教授し、文展の審査委員も務めている。